

活動報告

意見交換会を開催しています

6月27日(土)に鷺山事務所で議会報告会を行いました。新型コロナウイルスの動向を鑑みながら、今後も地域の皆さまのお声を聴かせていただきたく各々集会やサークル開催時に是非お声がけをお願いいたします。



7月27日(月)鷺山公民館において、柴橋市長と鷺山自治会連合会がこれからの地域街づくりや災害共助などの課題についての意見交換会を行いましたので参加させていただきました。



8月25日(火)若年層の集会で、活動報告と政治活動の必要性について意見交換を行いました。近年、若い世代の政治離れが叫ばれていることから、身近な問題から政治に参画してもらえよう、意識啓発活動にも取り組んでいきます。



9月5日(土)に開催された岐阜県電力総連青年委員会において、意見交換を行いました。政治の場で議論することの大切さ、また、社会生活全般においてライフスタイルが多様化している中において、課題意識を持ち必要に応じて声をあげていくことの必要性について訴えました。



石原ひろき プロフィール

■生年月日 昭和41年9月22日 ■現住所 岐阜県岐阜市正木1256-4

■略歴 昭和60年 岐阜県立高山高等学校卒業
同年 中部電力株式会社入社 勤続36年
平成31年 岐阜市議会議員選挙出馬一初当選
所属会派：岐阜市民クラブ
所属委員会：経済環境委員会



石原ひろきオフィシャルホームページ
<https://ishihara-hiroki.jp>

岐阜市議会議員

石原ひろき



活動報告だより

【発行】石原ひろきを育てる会

【発行人】石原 宏基

〒500-8812 岐阜市美江寺町2-5 (中部電力労働組合内) TEL 058-262-7362

vol.3

ご挨拶

初秋の候 ご支援賜っております皆さま方におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。また日頃から大変お世話になっており厚く御礼申し上げます。昨年4月に初当選させて頂き、約1年半が経過しお陰さまで本活動報告も3号を発行させていただきます。今回の会報では6月定例会(会期6月9日~25日)における質問内容、9月定例会(同9月1日~24日)の概要と近況を中心にご報告させていただきますのでご一読賜れますと幸いです。

6月定例会においては、初めて会派(岐阜市民クラブ)を代表し質問させていただく機会を与えていただきました。新型コロナウイルスは消滅したわけではなく今後の対策を中心に大きく5項目にわたって質疑を交わしました。

新型コロナウイルス感染はまだまだ油断できません。引き続き密集、密接、密閉の対策を万全にされますよう、加えて交通安全、健康を持続いただき益々のご健勝を祈念申し上げます。



議会活動
報告

6月
定例会

令和2年岐阜市議会第3回(6月)〈定例会:6月9日~25日まで〉

今回、常任委員会の委員が交代となり、私は経済環境委員に決まりました。市長から提案された議案は、追加議案を含め、予算議案5件、条例議案9件などの議案25件で、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

また、委員会から提出された意見書1件が可決されました。

今期定例会では、令和2年度補正予算にかかる事案や、新型コロナウイルス感染症対策などについて議論されるとともに、質疑・一般質問においては22名の議員が本会議で登壇し質疑が交わされました。

詳しくは岐阜市議会ホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。



石原 が行った 質問内容



Q1 新型コロナウイルスに関連する諸対策について

岐阜市内における感染拡大防止策について、非常事態宣言が発せられて以降、市民は多くの努力を払って対応してきた。ワクチン開発などの抜本的対策が確立されるまで、現在の小康状態を持続できるようかつ経済の回復などの舵取りを市長にお願いしたい。



- ①第2波に対する備えについて、まずは襲われないようにするための取り組みについての考え方、そのうえで襲われた場合の的確な情報発信、危険性の呼びかけなど。
- ②予算措置について、それぞれの自治体がさまざま工夫をしているようであるが、本市においても工夫に工夫を重ねて今後もコロナ対策を最優先した予算措置を講じる必要があると認識しているが市長の考え方は？
- ③市内の中小零細企業・個人事業主の経営支援について、支援することは市民の雇用を守ることにつながるものと考えられる。持続的な支援についてどのように展開していく考えか。

市長回答

現段階の本市の感染状況は4月初旬に比べると落ち着いていると言える。しかしワクチンや治療薬が開発されていない以上は流行の第2波、第3波が起り得ることを想定して、引き続き油断することなく、感染防止を土台としたwithコロナの考えのもとで社会経済活動を行っていくことになる。



- ①withコロナの生活が市民に浸透するよう「新型コロナウイルス感染症対策特集パンフレット」を作成し全戸配布するなど、市民に対する感染防止の呼びかけを進めたい。事業者の皆さまへ対しては「withコロナプロジェクト」と題して各店舗等での感染対策防止の取り組みを支援する。
- ②コロナとの戦いは長期戦になることが想定され、今後の状況変化に基づいた経済支援や第2波に向けた感染拡大防止など引き続き必要となる対策も万全にしておかなければならない。その財源確保については、当初予算の議決から間もない状況ではあるが、イベントの中止、側溝舗装、積立基金などの既決予算の減額を本議会に提案したところ。また財政運営の根幹となる税収等の減額も今後想定され、これらを的確に見極めつつ、国の2次補正における地方創成臨時交付金の活用なども視野に入れて、感染症対策を最優先事項として必要となる対策を着実に遂行するため大胆かつ機動的に対応していく。
- ③中小企業等への支援策として、3月新たに「ぎふし危機関連資金」を追加、5月「ぎふし新型コロナウイルス感染症対応資金」を創設した。また事業者の方が早期に融資を受けられるよう、加えて安全面も配慮し金融機関が事業者の代理申請を行う仕組み「金融機関ワンストップ手続き」を開始したことで迅速な認定書の発行、融資が可能となっている。また、雇用対策の面ではコロナの影響で就労の場を失った方などへ向け、ハローワークを通じて再就労された市民と雇用した市内事業者に対し雇用就労促進奨励金を支給する「雇用就労促進事業」を始めたところである。

Q2 小中学校の再開について

6月1日から市内の小中学校が再開され本当によかった。授業の遅れを取り戻す必要性から夏休みの短縮、土曜日登校を実施していくとのことであるが、これらの施策によるストレスを子ども達に持たせてはならないと考える。意欲をもって学習できるよう取り組んでほしい。



- ①休校明けの授業の進め方について、特にストレスを持たないよう学習に集中できる環境を整える必要があると考えるがどのように学校指導していくのか。
- ②校内の感染予防について、手洗い励行をはじめとする感染予防対策をどのように徹底する考えか。
- ③児童生徒の熱中症対策について、教室に設置されているエアコンが頼みの綱になると考えるが、エアコンには換気機能がない。暑さ対策と換気対策の両立をどのように行うのか。またエアコンを設置してから数年が経過しているが、稼働状態の確認、メンテナンスはしっかりと教育委員会の管理下で行われているか。

教育長回答

①先が見通せない不安定な長期の休み明けの登校であり、再開にあたっては「困りごと電話教育相談」を開設、また、希望者に対して「個人相談」を行った。学習の遅れや学習内容への不安が多く寄せられた。心配や不安はストレスに直結し、ストレスがうまく解消されればよいが、時として攻撃的になったり言動が荒れたりすることがあるので、やはり不安そのものの解消を図ることが大切である。今後もカウンセラーや心の相談員、ほほえみ相談員、いじめ対策監などが子ども達の思いに寄り添い対応していく。

②家庭での検温と健康観察、手洗い実施とマスク着用、給食は全員が同じ方向で食事する、生徒児童が共用する箇所の消毒、水道蛇口のレバー式への交換などを実施する予定。学校医や学校薬剤師から学校ごとに注意事項を指摘いただきながら随時見直しを進めたい。

教育委員会事務局長回答

①これから厳しい暑さが見込まれるが、子ども達が学校で快適に過ごすことができるようエアコンの設定温度を下げるあるいは風量を強めるなどの運用を図っていく。一方感染症対策として、換気扇も回す、窓を開けるなども行いながら、空調の稼働状況を調整し適温となるよう注意を払う。また教育委員会が行うべき機器のメンテナンスは学校と事前の連絡調整を図り適切に対応していく。

Q3 第6期岐阜市障害福祉計画および第2期岐阜市障害児福祉計画の策定について

平成30年3月に第4次岐阜市障害者計画を策定されており「誰もが自立してともに暮らすまちを目指して」と表紙に記載がある。次期計画の策定を行うための調査を進められるにあたって是非とも市民のニーズをしっかりと掘り起こしていただきたい。私は福祉ホームのニーズがあると受け止めている。

- ①今年度進めることになっている障害福祉計画について策定に向けての方針を伺いたい。

福祉部長回答

国が示す基本方針では、障がい者等の地域生活を支援するためのサービス基盤整備等に係る令和5年度末の目標等が定められ計画の策定にあたっては障がい者等のニーズの把握に努めるほか障がい者等の意見を反映させるために必要な措置を講じることが求められている。障がいのある方やサービス提供事業所等の意向を十分に汲みながら国・県の動向も踏まえ次期計画においては引き続き「誰もが自立してともに暮らすまちをめざして」を基本理念として障害福祉サービスや障害児通所支援サービス等の一層の充実に努める。



議会活動 報告 9月 定例会

令和2年岐阜市議会第4回(9月)定例会 9月1日~24日までの24日間

市長から提案された議案は、追加議案を含め、補正予算3件、条例4件、決算認定などの議案19件で、審議の結果、修正可決1件、その他いずれも原案のとおり可決・承認・同意・意義のない旨答申されました。また、委員会及び議員から提出された議案4件も原案のとおり可決されました。

また、今期定例会では令和元年度決算などについて熱心に議論されるとともに、質疑・一般質問においては23名の議員が登壇し質疑を交わしました。(今回は石原登壇しておりません)

